

6.8.6 エコマテリアル

(1) 調査事項

調査事項は、表 6.8.6-1 に示すとおりである。

表 6.8.6-1 調査事項

区 分	調査事項
予測した事項	・エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
予測条件の状況	・環境物品調達方針
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図る計画である。 ・「平成28年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」を踏まえ、環境物品等の活用を積極的に進める。 ・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画である。 ・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。 ・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地とした。

(3) 調査手法

調査手法は、表 6.8.6-2 に示すとおりである。

表 6.8.6-2 調査手法

調査事項		エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度
調査時点		工事の施行中とした。
調査期間	予測した事項	工事中の適宜とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	
調査手法	予測した事項	関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	
	ミティゲーションの実施状況	

(4) 調査結果

1) 調査結果の内容

ア. 予測した事項及び予測条件の状況

ア) エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

エコマテリアルの利用状況は、表 6.8.6-3 に示すとおりである。なお、エコマテリアル利用量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。

表 6.8.6-3 エコマテリアルの利用状況

品目分類		利用量	備考
特定建設資材	再生アスファルト混合物	4.0t	
その他の建設 資材	土砂	17,480m ³	東京都建設発生土再利用センターより搬入
		6,689m ³	都立公園整備工事より搬入
	砕石	4,800m ³	再生クラッシュランを利用
		3m ³	再生粒度調整砕石を利用

イ. ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 6.8.6-4 に示すとおりである。エコマテリアルに関する苦情はなかった。

表 6.8.6-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
・盛土材は、他工事の建設発生土の工事間利用を図る計画である。	盛土材として、都内の仮置き場から建設発生土を搬入した。 (写真 6.8.6-1)
・「平成28年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」を踏まえ、環境物品等の活用を積極的に進める。	建設資材として、再生アスファルト混合物、東京都建設発生土再利用センター及び都立公園整備工事から発生した土砂を活用した。また、舗装の上層路盤材には再生粒度調整砕石等を調達した。
・今後、開発・実用化される素材についても、積極的に利用を努める計画である。	今回の工事では、これまで定められていた環境物品等により十分な対応が行えたことから、新たに開発・実用化された素材の利用は行わなかった。
・資材の搬入、副産物の搬出に当たっては、あらかじめ再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存を行う。	工事の実施に当たっては、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、実施状況は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書にて記録・保存した。
・エコマテリアルの使用状況確認については、フォローアップで確認する。	エコマテリアルの使用状況について、調達品目、数量をフォローアップにより確認した。



写真 6.8.6-1 建設発生土搬入

2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

ア. 予測した事項

ア) エコマテリアルの利用への取組・貢献の程度

建設工事に当たっては、「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針（公共工事）」（平成 28 年 4 月 東京都）に基づき、建設資材等の環境物品の調達を行った。

以上のことから、予測結果に対しフォローアップ調査結果は概ね一致していると考ええる。

なお、エコマテリアル利用量の中には、評価書の予測対象としていなかった建築物等整備に係るものも含まれている。